

「寅年」にまつわる話

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

2022年は、「寅年」ですが、今年はどうな年になるのでしょうか。

寅年の「寅」という字は、「矢を両手で引っ張る」象形から「引っ張る・伸ばす」といった意味があり、草木が伸び始める状態を表していると言われているそうです。

このようなことから、寅年は芽を出したものが成長していく年、これから成長する年とも言われているようです。

「成長」が起こると言われている寅年に、過去どのようなことがあったのでしょうか。

【寅年に起こった出来事】

	出来事
1950年	世界気象機関（WMO）発足
1986年	株価高騰による「バブル経済の始まり」
	男女雇用機会均等法 施行
1998年	日本で明石海峡大橋が開通、同時に神戸淡路鳴門自動車道も全通
	日本初の火星探査機「のぞみ」の打ち上げに成功
2010年	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

過去を振り返ってみると、新しいものが生み出されたり、初めての出来事が起こったりなど、寅年の「芽吹いたものが成長する」ということにちなんだ出来事が多いようです。

また、干支にちなんだ格言で「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌笑い、亥固まる、子は繁栄、丑つまずき、寅千里を走り、卯跳ねる」というのがあり、「辰年や巳年には株価が高値を付けることが多く、午年は下げ相場、未年は我慢が強られる相場展開。申年や酉年は値動きが荒く、戌年は上昇、亥年は値を固める、子年は上昇、丑年は下落、寅年は大幅上昇、卯年は上昇する」という意味だそうです。

2020年から2021年にかけて、新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活は一変し、暗い出来事が多く起こりましたが、2022年は景気も回復し、飛躍する年となることを期待したいものです。

【参考資料】

FujiSankei Business i. (2005年1月4日付)